

(一社) 日本繊維機械学会 繊維リサイクル技術研究会

第 159 回情報交換会

～繊維廃材のプラスチック製品への応用について～

日時：2025年12月4日(木)14:00～17:00頃、場所：ハイブリッド開催

オンライン：大阪科学技術センター7階700号室、オンライン：Teams

<http://www.ostec.or.jp/>

(共催：NPO 法人 未利用資源事業化研究会)

拝啓 下記の通り恒例の情報交換会を開催いたします。今回は繊維廃材のプラスチック製品への応用に焦点を当て、繊維廃材をプラスチックの強化材としてペレット化した場合や、熱可塑性の繊維をペレット化して成形加工へ応用する例についてお話を聞いて頂きます。今回はとくにドイツにあります繊維とプラスチックの研究で有名な TITK からトーマス部長をお招きしてドイツのリサイクル事情などについてもお話しして頂きます。講演会に引き続き懇親会も開催しますのでこちらにもご参加して頂けると幸いです。なお、準備の都合上、参加の可否を 2025年11月25日(月)までに木村（Emailkimura426@gmail.com）宛て、ご連絡頂けると幸いです。会員外の参加も歓迎しますのでお知り合いの方々もお誘いください。

(注：今回参加費は無料としますが、本研究会は会員の会費で運営されています。非会員の方はできるだけ会員登録をお願いいたします。懇親会は有料です。)

プログラム

開会挨拶(14:00-14:10)：木村照夫 氏（本研究会委員長、京都工芸繊維大学 名誉教授）

講演1 (14:10-14:50)：

「リサイクルコットン由来のマイクロファイバーで強化した PP 複合材料 “コットレジン” について」

辻本 裕 氏（シキボウ株 理事、繊維部門 新事業開発室長）

講演2 (14:50-15:40)：

「ポリエステル繊維廃材によるプラスチックプロダクトの可能性」

和田 顕男 氏（株）エコログ・リサイクリング・ジャパン 代表取締役）

武田麻木子 氏（株）エコログ・リサイクリング・ジャパン 環境デザインインキュベーター）

特別講演 (15:50-16:40)：

「Composite materials with recycled fibers(CFRP,GFRP and Aramid)」

トーマス・ロイスマン 氏（TITK <ドイツ・チューリンゲン繊維プラスチック研究所>研究部長）

報告事項 (16:40～17:00)：

テキストブック「繊維リサイクルと私たちの生活～持続可能な社会に向けて～」の紹介

名刺交換会（懇親会）17:20～19:00頃 「会場近辺 会費 4000円」

以上